



オヤブジラミ：雄薺虱<セリ科・ヤブジラミ属>

野原や道端に普通に生える2年草。全草に毛があり茎の高さは30~70㎝で紫色をおびる。葉は4~10枚、細かく切れ込み薄い。3~5月頃、枝先に白い小さな花を付ける。果実は細長い丸みのある楕円形で長さ4~6㎜。名は、薺に生え、果実の形がシラミに似ていて、おまけに体にとりつくところから。近縁種のヤブジラミは、オヤブジラミの花や果実がまばらに付くのに対し、しっかりと密に付く。果実も小さめで花期も遅い。・・・▼春から初夏へ。山々の木々も緑深まり力強い。近所の牧場へと足を延ばす。道すがら目に留まったのは、すくくと伸ばした枝と実が可愛いオヤブジラミ。何とも気の毒な名だが色もオシャレ。▼G7ひろしまサミットが終わった。首相らが囲んだ円卓は湯来の家具メーカー「丸二木工」の作品。さらにデザートには「サゴタニ牛乳」が。二つもの地場産業の登場に心が躍る。そして、季節は巡り、湯来はまもなく蛍の季節を迎える

~佐伯区湯来町 2023・5月~